

事業委員会主催 技術研修会(日帰りコース)報告

1. はじめに

平成 29 年度事業委員会主催の技術研修会(日帰りコース)を以下の要領で開催しました。

技術研修会の主な見学内容について報告します。

2. 見学内容

(1)実施概要

日 時：7 月 28 日(金) 13：30 ～ 19：00

参加者数：46 名

見 学 先：望月寒川放水路トンネル建設現場、

する予定となっています。

○放水路トンネルの概要

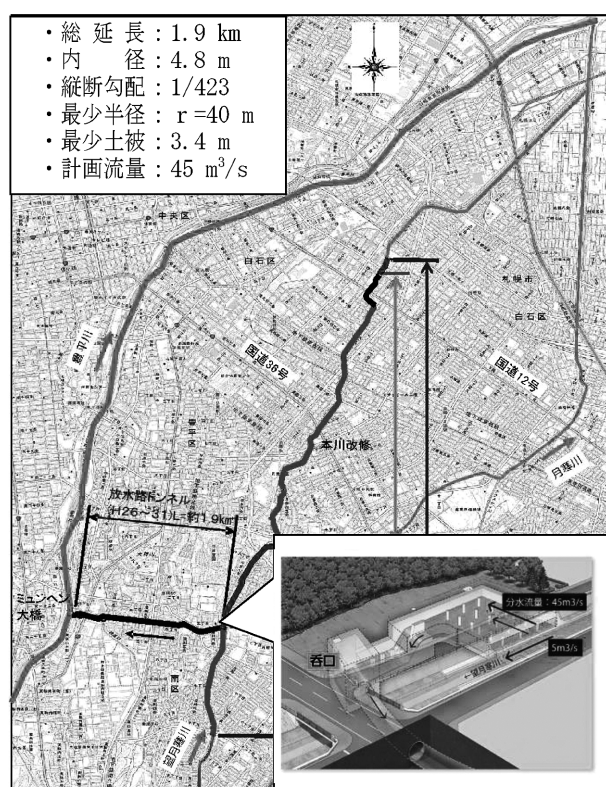
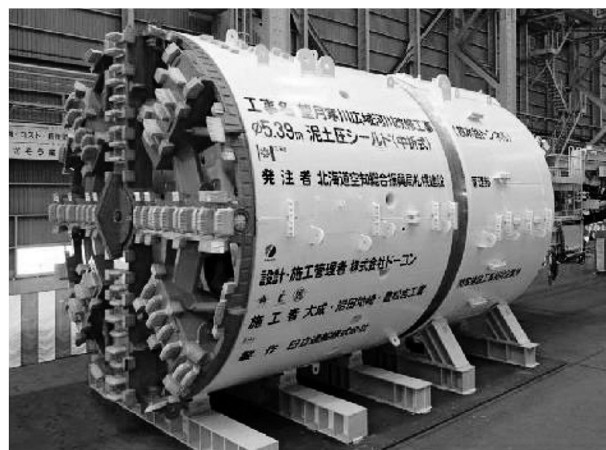


写真 荒川主査による現場事務所での概要説明

望月寒川放水路トンネルは、頻発する流域の洪水被害発生に対し、洪水時に流水の一部を豊平川へ分流することにより、河道の負担軽減を図ることを目的に計画されました。放水路は、洪水時 50m³/s の河川流量のうち 45m³/s を放水路トンネルへ分流するため、呑口部に越流堤、沈砂池、オリフィスを設置し放水路トンネル(内径 4.8m)へ分流します。工事は 26 年度より始まり平成 31 年度に完成



シールドマシン(説明資料より)

(3)建設の状況

平成 26 年度に到達側(呑口)の仮設工事が始まり平成 27 年度から 28 年度で呑口本体工の施工が終了し、今年度から吐口側より泥土圧式シールド工法でのトンネル工事が始まりました。見学時は、仮掘進が始まりまもなく本掘進へ移行する段階でした。

平面線形は、ほぼ全区間で市道の下を通るルートとなっており一部曲線区間で民地の下を通るルートとなっています。また、全長約 1.9km のうち $R = 40 \sim 60$ の曲線箇所が 7 箇所、礫径 80cm の巨礫もあり掘進には技術を要する工事となっています。



写真 裏込め注入プラント(左)トンネル坑内(右)

セグメントは、RC が一般的で本工事でも直線部には RC セグメントを使用していましたが、曲線区間



写真 鋼製セグメント(上)RC セグメント(下)



写真 集合写真(発進立坑防音ハウス内)

では反力を取る際に RC が割れる可能性もあるということで鋼製セグメントを使用していました。

3. おわりに

見学会当日は、あいにくの雨模様でしたが地下構造物であったため、移動時に多少雨に濡れる程度で無事に見学することが出来ました。見学後の懇親会では恒例となっているビールとジンギスカンで参加者の皆さんと楽しく過ごすことができました。



写真 懇親会の様子

ご参加の皆様、並びに望月寒川放水路トンネル工事の概要について説明してくださった札幌建設管理部の皆様、JV 皆様、ご協力ありがとうございました。